

平成30年錦江町成人式

新成人の新たな門出 「未来」へ向かって

1月3日(水)、錦江町文化センターで新成人の門出を祝う「平成30年錦江町成人式」が開催されました。今年の新成人は96名で、式典には65名が出席されました。

式典の案内や、受付、司会進行など実行委員会を中心に運営され、オープニングでは、小学校や中学校時代の写真で思い出を振り返るスライドショーの上映も行われ、当時を懐かしむ姿が見られました。

式典は、入佐歩実さんの司会でスタートし、来賓からの祝辞や、青年団長からの激励の言葉を真剣に聞いていました。

新成人の主張では、山下翔平さん、鶴田颯さん、磯元唯さん、川崎隆海さんの4名が新成人を代表して親や地域の方への思いや、これからの未来へ向けての、力強い決意を述べました。式典の最後には、和太鼓集団「魂」保存会の皆さんによる激励の太鼓演奏も行われました。新成人の皆様、これからの活躍に期待します。



私は現在、福岡県北九州市にある専門学校へ通い「柔道整復師」の資格を取るために勉強しています。また、学校へ通いながら整骨院でのアルバイトをしています。患者さんの痛みを取ろうと一生懸命に施術している先生達を見ると、自分も立派な柔道整復師になりたいという思いが強くなります。故郷を離れて、改めて生まれ育った錦江町の素晴らしさに気付きました。これからは、目標達成に向けて歩んでいきたいと思えます。



鶴田 颯さん (田代中学校卒)

私は昨年10月から、大隅肝属地区消防組合に勤務しています。現場では、隊長の指示に応え、迅速な行動をとらなければ命を救うことができません。そのためには、日々の訓練が必要です。一日でも早く一人前になれるように日々訓練を積み、仲間、そして住民の方々との信頼関係を築けるよう努力します。そして、生まれ育った大好きな錦江町を誰もが安全で安心に暮らせる町にするために貢献したいです。



山下 翔平さん (田代中学校卒)